

議事録

下記のとおり報告します。

- 用件:令和5年度湖南省まち・ひと・しごと戦略茶話会
- 日時:令和5年7月28日(金)14時00分~16時10分
- 場所:湖南省役所 3階大会議室
- 出席者:18人

職員 J) 皆様こんにちは。それでは定刻となりましたので、ただいまより始めさせていただきたいと思っております。本日はお忙しい中、令和5年度湖南省まち・ひと・しごと総合戦略茶話会に出席いただきまして、ありがとうございます。まず開会にあたりまして、職員 K からご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

職員 K) 皆さんこんにちは。本来ですと、市長がご挨拶申し上げるところでございますが、他の公務とあいにく重なっておりますので、ご容赦いただきたいと思います。

本日はお忙しい中、本会の会長をお引き受けいただいた委員 A 様はじめ、お集まりの皆様もまち・ひと・しごと戦略茶話会事業評価をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。令和5年のまち・ひと・しごと戦略茶話会の開催にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

湖南省では今後の人口予測といたしまして、2060年には現在の総人口の実に約29%が減少することが見込まれてございます。人口減少対策といたしまして、まち・ひと・しごとの3つのプランに基づく、7つの政策パッケージを展開する第二期湖南省きらめきときめき元気創生総合戦略を、令和3年の4月に策定をいたしております。

この戦略茶話会につきましては、主に総合戦略の事業の取組の成果や、今後の施策展開などを踏まえまして、事業評価をいただくということを目的に、皆様にお集まりをいただいております。

また、今回の戦略茶話会につきましては、湖南省のまちづくりを考えていくための政策パッケージシートに関するご意見やご感想もお聞かせをいただきたく、各業界で活躍されている皆様から、こんな取組があったらもっとよくなるのではないかと、また私の周りにこんなことで困っておられるというように、そういった日頃感じておられるような、率直なご意見をいただけたらというふうに考えてございます。我々行政の視点を皆様のご意見によって、もっと広げていただけるとありがたいと考えているところでございます。

今後の湖南省の発展につなげていくために本日は実りのある会議にしていきたいと考えておりますので、皆さんに忌憚のないご意見をお願いいたしまして、冒頭のご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

職員 J) それではまずお手元の配付資料の確認をさせていただきたいと思っております。お手元に配付資

料一覧を置かせていただいております。次第と資料の一式ということで、こちらをご覧いただけますでしょうか。もし手元になく必要という方がいらっしゃったら、お声がけいただきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

それでは次第に基づきまして、その場で結構ですので座席表の順番に、湖南省との関わりや、今の湖南省に感じることなどを簡単に自己紹介とともにご紹介いただければと思います。それでは最初に委員 A 様からよろしくお願いいたします。

委員 A) 皆さんこんにちは。滋賀県立大学の委員 A でございます。私の事はあまり知らないかと思うのですが、滋賀県立大学の地域共生センターというところで、地域との連携窓口をしている部署ですが、その教員をさせていただいています。

やっている内容は、学生の地域教育という事で、地域に学生が出るという基礎的な素養を身につけてもらうような授業を担当しております。1回で 650 人ぐらいですけど、その授業の担当とかをさせていただいています。研究はあまりしていませんけど実践活動をしていて、まちづくり活動、NPO 支援とか、コミュニティービジネスの実践とかを民間でやっているような人間で、あまり研究者ではありません。

湖南省さんとはなかなか関わる機会がなくて、なかなかこっちの方に来ないですけど、私の持っている授業で、地域診断法という授業で学生が湖南省をフィールドに調査してくれたことがありまして、大体形が分かっているつもりです。今日皆さんがどういう発言をされるか分からないですけど、皆さんの意見をぜひ伺いたいと思って参加をさせていただいています。よろしくお願いいたします。

職員 J) はい、ありがとうございます。続きまして委員 B 様から順によろしくお願いいたします。

委員 B) 石部の方で生花の小売店をしております。生まれも育ちも湖南省でありまして、湖南省のより良いまちを考えて今日来させていただきました。いろいろな皆さんのご意見を聞いて進めさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

職員 J) ありがとうございます。それでは委員 C 様よろしくお願いいたします。

委員 C) こんにちは。委員 C といいます。湖南省の工業会を代表して、今日は参加させていただいています。工業会の方では、工業を中心として、湖南省に発展していくためのものを残していく。また、一部はチャリティーなどをしながら、湖南省の方と関わりを持って進めているというところで、今回この会議に初めて出席します。内容がはっきりわかっていないですけれども、今後ともよろしくお願いいたします。

職員 J) ありがとうございます。委員 D 様お願いします。

委員 D) こんにちは、委員 D でございます。私は湖南省との関わりと言いますと湖南省の工業団地の企業で働かしていただいています、今日このような会議は初めてですんで、なかなかわからないところもあるかと思いますが、よろしく願いをしたいと思います。

職員 J) ありがとうございます。では委員 E 様お願いいたします。

委員 E) 滋賀銀行の甲西中央支店の委員 E と申します。私も生まれも育ちも湖南省で滋賀銀行に昨年入行いたしました、縁あって甲西中央支店、すぐ隣の支店になるのですが、そちらに配属になります。ずっと湖南省で育っているのです、今回このような会にお呼びいただきありがとうございます。皆様のご意見をお伺いしてより良い湖南省づくりにお力添えできればと思っておりますので本日はよろしく願いいたします。

職員 J) ありがとうございます。それでは委員 F 様お願いいたします。

委員 F) 失礼します。すぐその県立甲西高等学校で教員をしております委員 F と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私と湖南省の関わりは、8年前県立高校の職員ですので、転勤で湖南省にきました。それまで、もともと滋賀の人間ではないので、湖南省っていうのを知らなかった人間です。そのあと3年間担任をしておりましたが、4 年前から教務の方に異動しまして、その当時から、学校現場では総合的な探求の時間っていう時間が始まりましたので、その際に、何か地域と連携してできないかなということで、今日も市役所の入口のところでうちの生徒がウロウロしておりましたが、湖南省さんの方をフィールドとして、地域の疑問とか問題とかを見つけにいて、まとめて発表するっていうような授業を展開させていただいています。

そこからずっと湖南省さんとは、4年ぐらい一緒に仕事をさせてもらっていて、今年度は担任の方へ業務替えがあり、メインとしてはやっていないですが、来年度、実際に実行しに行く学年を担当しておりますので、今度は生徒を動かす側でまた湖南省さんと協力していろいろやっていけばいいなと思っております。

職員 J) ありがとうございます。では委員 G 様お願いいたします。

委員 G) はじめまして、湖南省観光協会の委員 G と申します。私は湖南省生まれ湖南省育ちで湖南省観光協会勤めて 10 年目ぐらいになります。今日のはじめましての方ばかりで、ちょっと緊張しているのですが、今後何かコラボできることがあればぜひ一緒にさせていただきたいです。甲西高校さんで、学生ボランティアなんてことができれば嬉しいなとも思っております。今日はよろしくお願いいたします。

職員 J) ありがとうございます。それでは委員 H 様お願いいたします。

委員 H) 中日新聞の委員 H と申します、よろしく申し上げます。現在は甲賀市さん、湖南省さんの二つを担当しています。その前は彦根市に4年ほどおりました、湖南省さんは失礼なんですけどちょっと印象があまりなかったです。こちらへ赴任してきて、観光にしろなんにしろ、ポテンシャルといっぱい物があって、もったいないな、もっと力がある市なんじゃないかと最近は思っているところです。よろしく申し上げます。

職員 J) ありがとうございます。委員 I 様お願いいたします。

委員 I) 皆さんこんにちは。こなんSDGsカレッジの委員 I と申します。私自身は湖南省の生まれ育ちで今現在はエストニアという国にあるタリン大学に在籍しております。その繋がりで留学フェロシップというNPO団体に所属しております、そちらが運営を務めて、湖南省の地域創生推進課が主催をしているこなんSDGsカレッジの運営を昨年度からしております。

こなんSDGsカレッジをちょっと知っていただいているかわからないのですが、目的としては、中・高生、あと大学生を含めた若者のまちづくりを推進するという、それを若い世代をまちづくりに巻き込んでいくというのが目的のプログラムになっています。

湖南省に対する印象としては、プログラムの準備などを通じて地域の方とお話をする機会があるのですが、皆さん結構口をそろえて言うのは、湖南省は比較的便利な街だけど何かちょっと光るものがないっていうのをよく聞くので、本日はお話をしていた経験も含めて若者の視点からお話させていただければと思います。よろしく申し上げます。

職員 J) ありがとうございます。申し遅れましたが私は湖南省地域創生推進課長の職員 J と申します。よろしく申し上げます。

続きまして、この戦略茶話会の進め方について簡単に説明をさせていただきます。このたびの茶話会につきましては、冒頭の挨拶からもございましたように、各業界の代表者の皆さんと一緒に湖南省のまちづくりについて考えていきます。

本日のスケジュールといたしましては、事務局より、地方創生の取組に関して、全体の説明を簡単にさせていただいた後に、各委員の皆様から事前にお渡ししております、きらめきときめき元気創生総合戦略にあります政策評価パッケージシートに関すること。また、湖南省の取組について、感じたことや気になったことなどをご自由に発言いただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

続きまして、第二部におきましては、政策評価パッケージシートについて、担当部局よりパッケージの中でも、特に評価していただきたい事業について説明させていただきます。併せてその分野においてもお気づきの点やご意見などがございましたら、聞かせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

それでは次第の3、地方創生の取組について、担当者から説明させていただきます。

職員 L) 皆さん本日はありがとうございます。地域創生推進課の職員 L と申します。地方創生の取組についてという資料、ホチキス止めしてあるものですが、こちらの資料に沿って説明の方をさせていただきます。座って説明させていただきます。

では表紙のほうめくっていただいて、2 ページ目になります。まず総合戦略の概要としまして、本市の総合戦略につきましては、第二次がスタートしておりまして、令和3年度からスタートしたところです。事前に配布させていただきました第二次湖南省総合計画後期基本計画、こちらにあります第7章というところの重点プログラムに、総合戦略が位置付けられてございます。

この策定の背景としましては、出生率の低下による人口減少に歯止めをかけ、東京圏など都市部への人口の過度の集中の是正を目的に、国の方でまち・ひと・しごと創生法というものが制定されております。こちらの趣旨につきましては、資料に書いてある通りですので省略させていただきますが、本市の位置付けとしましては、本市の自主性、主体性を発揮しながら、この総合的かつ計画的に実施するというものでございます。

ではページめくりまして3ページになります。取組と施策効果の考え方としまして、急激な人口減少、少子化進展に歯止めをかけるとしまして、自然動態と社会動態へ働きかけます。自然動態というのは出生(しょう)と死亡の差であり、社会動態というのは、転入と転出の差になりますが、こちらの働きかけとして、強みのある産業の振興でありますとか、新産業の創出、子育て支援や移住定住の促進を進めていくということです。そこでの目指す政策効果につきましては、合計特殊出生率を、2060 年に国民の希望出生率の 1.8 まで引き上げていくというものでございます。直近で湖南省の現状申し上げますと、甲賀保健所によりますと 2021 年で、合計特殊出生率は 1.29 になっております。県におきましては、1.46、国におきましては 1.30 ということで、湖南省の合計特殊出生率は、全国平均をほんの少し下回っています。

4ページです。過去の人口推移、まずは総人口の方ですが、外国人を含んだ総人口推移としましては、住民基本台帳ベースのグラフになります。ここ 2018 年からは増加傾向にありましたが、2021 年以降では減少傾向にあります。参考に 2020 年の国勢調査、皆さんもご回答いただけたかと思われませんが、その中で、滋賀県全体では 0.05%人口が増えておりますが、湖南省におきましては、0.31%の増で人口が増えております。また 2020 年の人口推計予測であります 53,640 人という数字が出ていましたので、そういった意味では総合戦略の取組成果などにより 54,460 人、押し上げ数によると 820 人ほど人口推計予測を上回っていることとなります。目標においても 54,498 人としておりほぼ目標通りとなりましたので、次の 2025 年人口においても目標の 53,967 人に向けて取り組んでいきます。

5ページお願いします。こちらの方、先ほど総人口でしたが、日本人と外国人で見た時の人口の推移でございます。まず日本人は、この5年で 1,217 人減っております。さらに直近でいきますと6月現在で 50,808 人ということで、1,497 人減っています。一方、総人口が大きく減少していないのは外国人人口が増えているというところで、この 5 年で 892 人増加していたという結果となっております。コロナ禍の影響で若干鈍化しておりましたが、直近ではさらに増えており6月現在 3,641

人で1,029人増えています。

続きまして6ページ目ですけれども、総合戦略の方向性ということで、三つのプランと目標指標というのを掲げております。まず、三つのプランです。働く場の創出プラン、ひとへの投資プラン、まちづくりプランで、まず働く場の創出プランにつきましては、安定した雇用の創出としております。

ひとへの投資プランにつきましては移住定住促進や、関係人口の創出といひまして「関係人口」がキーワードですが、市民ではなく、観光客でもない方々が市のまちづくりに関わっていただける方で、昨今注目を受けているところではございます。また基本的方向3というところで、若い世代の結婚出産、子育ての希望を叶えるということではございます。

三つ目のまちづくりプランにつきましては、時代にあった地域づくりや、誰もが活躍できる社会、安心して暮らせる住環境整備をつくるということではございます。

続いて7ページ目です。総合戦略の取組状況の総括を簡単にご紹介いたします。二本立てというところで、産業振興・働く場の確保と、市民主体のまちづくり・移住定住促進を進めているところでございます。産業振興・働く場の確保につきましては、農福連携であるとか人材確保、あと観光の分野に様々な地域資源を活用して積極的に取り組んでいます。市民主体のまちづくり・移住定住の促進につきましては、まちづくり協議会を中心に地域主体のまちづくりや、令和3年度からスタートしておりますSDGsの推進ということで、シュタットベルケ構想やSDGsカレッジの事業を展開しています。それと移住定住の促進につきましては、地域おこし協力隊事業や空き家の活用、さらには健康寿命の延伸のプロジェクトといった健康の取組も同時並行で実施しているところでございます。

続いて8ページ目です。デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業の一覧でございます。令和4年度実施事業としては下段にあります「湖南省SDGs未来都市計画事業」です。

詳しい事業の説明について9ページです。湖南省SDGs未来都市計画事業につきましては令和3年度からスタートしたものでございます。令和4年度に実施したのは、留学フェローシップや同志社大学政策学部と連携し、若者が主体的にまちづくりに参加することができる「こなんSDGsカレッジ事業」や、甲西高校と連携して地域資源教育推進事業を進めています。また、湖南省は令和2年7月にSDGs未来都市として認定されておりまして、その翌月にはゼロカーボンシティを宣言し、全国に先駆けてエネルギーの取組も積極的に行っています。地方創生の取組は以上でございます。

市も様々な取組をしているところではございますが、予算や人員に限りがある中で、こういう取組はどうかとか、もっとここに集中的にした方がいいのではないか?または思い切ってやめた方がいいのではないか、という率直な意見もうけたまわりたいと思っております。以上簡単な説明ではございますが、本日はどうぞよろしく願いいたします。

職員 J) それでは続きまして、議題4の議題に入らせていただきます。全体のコーディネーターには滋賀県立大学地域共生センターの教授でいらっしゃいます、委員 A 様にお願いをしております。本日は評価員の皆さまからお発言をいただきたいと考えておりますので、できるだけ簡潔にお話いただければと思っておりますので協力をどうぞよろしく願いいたします。

また、茶話会ということでございますので、和やかな雰囲気でご生活で感じておられることをお聞かせいただければと思います。それでは委員 A 様どうぞよろしくお願いいたします。

委員 A) 改めましてよろしくお願いいたします。一応、司会をしろということなので司会をさせていただきますけど、和やかな雰囲気というふうに言われましたけど、この私が司会をして和やかな雰囲気になるかということがちょっと心配でありますけど、協力よろしくお願いいたします。

今から 1 時間半ですから、残り 90 分ですね。私こういう会議では、必ず全員発言させていただくようにしています。皆さんからお話を聞きたいと思っていますので、ちょっと今議題の 4 番について、先に行政側から説明を全部聞いてから、皆さんの意見を 1 人ずつ順番に発言をして、大体 3 分ぐらいで 1 人ずつ、委員 B さんから順番に回っていくような形で発言をしていただきたいと思います。順番変えてしまって大丈夫ですか。

職員 K) では説明させていただきます。総合政策部の方から政策パッケージシートの 1 ページを見ていただきたいと、まず 1 番目がふるさとづくりの促進ということで、ふるさと納税をメインとした事業でございます。

これについては全国どこでも実施されていることではございますが、こういった事業を通じて湖南市に関心を持っていただいて、関わりを持っていただくところを狙って、取組をしているところであります。KPI がここに定めておりますが、その中でも寄付をしていただく人を増やすのもそうですが、その湖南市の特産品を、市外県外の皆さんに知っていただくというようなことで、返礼品を増やしていくということも、この KPI に定めさせていただいているところでありますし、さらにそういったことを通じて、湖南市に関心を持っていただくということがこの政策の一つの狙いでございます。

それから 2 ページ目をご覧くださいと、クラウドファンディング支援事業、これにつきましては、市民活動を公的な資金を使わずに、市が宣伝をさせていただくことによって、たくさんの人に注目していただくということの事業でございます。近年、いろいろと市民活動支援という部分で展開をさせていただいているところで、こういった事業も進めてございます。

次に持続可能なまちづくりということで、5 ページになろうかと思いますが、これについては先ほどもありましたように、地域主体のまちづくりを地域中心に、いろんな事業を展開する。本市では七つの地域まちづくり協議会を組織いただいておりますので、そこを行政も支援することによって、いろいろと施策展開を図っているところでございます。

それと 6 ページには若者まちづくり課プロジェクト、先ほど委員 I さんの方から、この SDGs カレッジというようなところでご紹介しましたが、それが本市の若者への参画、まちづくりへの参画という事業でございます。

特に人口流出の話も先ほど出ましたが、若い世代が転出をしていくということが、本市にも見られます。そこには若い小中学生とか、若い世代のうちから、市の地域に関わりを持ったり、地域に関心を持っていただくことによって、ふるさと意識を醸成していくというところで、若い人いかに地域、まちづくりに関わっていただくかというところで進めている事業でございます。

それと 8 ページには世代間交流というところと、それはスポーツの振興を通じての世代間交流のところがございます。その中で、ふれあいサンデーとして、体育館やスポーツ施設を一般の皆さんに開放しまして、今それぞれのチームスポーツなんかで作られているコミュニティー以外に、たくさんの市民の方がいろんな方が参加できるような機会づくりを通して、スポーツを通じた世代交流を図っているところがございます。

その次には、10 ページでございます。広域連携の推進というところで、これについては甲賀郡旧 7 町の枠組みの中で、それぞれ広域組合として、ごみ行政や、消防、病院といった、行政連携をしているところがありますが、こういったもののほかに、近隣の甲賀市さん、栗東市さん、野洲市さん、竜王町さんと、いろんな分野やジャンルにおいて、連携を図っていきながら、地域での活性化というところを進めているところです。

あと 10、11 ページには、安心して暮らせる基盤いうところで、危機管理の取組でございますが、これは湖南市に 43 ある行政区に、それぞれの防災計画を策定していただいて、まず、地域は地域の役割の中で、またそういった防災を通じた地域間のコミュニティー繋がりを確立していくというところで、施策展開をしているところでございます。簡単でございますが、以上です。

職員 M) 引き続いて、市民生活局長の職員 M です。多文化共生のまちづくりについて説明します。13 ページ、湖南市としては人口減少対策を行う中で、市役所の窓口に来ることが必要になってきますので、そのようなところでできるだけ困らないように、国の方で進めております一元的相談窓口設置事業です。補助限度額はございますけども、そちらの方を利用して、湖南市の窓口で外国人の方々が来られた時に相談できたり、スムーズに事務が流れるよう通訳を行ったり、通訳だけではうまくいかない場合はポケットークを活用し、事業を進めています。今まではブラジルなど南米からの外国人が多かったのですが、最近はちょっといろいろと変わってきて、ポルトガル語だけでは済まないというようなことですので、今後のやり方についても、担当者等と協議しながら、いかにスムーズにまた、相談をしやすい環境をつくっていきけるのかということで取組を進めております。

職員 N) 健康福祉部の職員 N です。よろしくお願いたします。私の方から資料の 15 ページから説明をさせていただきます。健康福祉部の方からは安心して暮らせる基盤づくりということで、事業の方挙げさせていただいております。

こちらの湖南市ボランティアセンターのボランティアの登録について、地域福祉を進めるに当たりまして、地域の方、事業所の方、行政、社会福祉協議会も様々な方が連携をすることで地域福祉の方の推進をしていくという体制づくりに取り組んでいるところがございます。その中で、行政だけではできないというところで、ボランティアの方や民生委員さんを増やしていく、ご自身が得意なことで、社会に、また地域に役立っていただけるような体制づくりを進めていくというところに取り組んでいるところがございます。

資料 16 について、湖南市の方では法に基づき、障がい者計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画という障がい福祉の方を湖南市でどのように進めていくかという計画を立てて、その中で、

行政や事業所、本人やご家族が共通の認識を持ちながら、障がいがあっても地域で暮らしていけるような社会づくりを目指しているものでございます。

続きまして 16 ページの下段、こちらは新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援事業というところで、新型コロナウイルスの関係でお仕事にも支障があったりですとか、そういった方に資金の貸し付けを行ったりですとか、社会福祉協議会の方と連携してなんですけれども、また一定の支援金の方を給付する事業となっております。こちらにつきましては令和 4 年 12 月で申請受け付けの方は終了しております。

続きまして 17 ページをご覧ください。こちらは通院医療費の拡大事業になり、これまで幼児用の医療費を助成しておりましたが、小中学生の通院医療費の方も、範囲を拡大して医療費の助成を開始いたしました。こちらの小中学生の通院医療というところで、ご家庭の負担になっていた医療費負担をなくし、生活が苦しいというところで医療にかかれないというところを無くしていくために拡大を進めているものでございます。

同じく 17 ページ下の段になります。障がい福祉施設等原油・物価高騰対策支援事業はコロナウイルス関連事業で、新型コロナ禍であっても障がい福祉施設は運営していただく必要がございますから、物価高騰分を補填するというところで、各施設に対しまして、負担軽減の目的で支給を行った事業でございます。こちらでは令和 4 年度に終了しております。

次の 18 ページからは地域包括ケア推進局の事業になりますが、不在のため健康福祉部からご説明いたします。

委員 A) 強調したいところや議論していただきところを簡潔にお願いします。

職員 N) かしこまりました。18 ページですが、高齢者やすべての方が健康に高齢になっても健康に過ごせるようにというところで認知症サポーターの養成ですとか、健康づくりに関する事業になります。

ページ変わって 19 ページになります。保健センター感染対策事業は保健センター内の新型コロナウイルスの感染症対策を行っているということになります。19 ページ、下段ですけれども、先ほど紹介した事業と同じように、社会福祉施設におきましても、物価高騰に対する支援の方を行いました。

続きまして 20 ページ、こちらの方は医療機関に対して同じように物価高騰に対する支援の方を行いました。健康福祉部からは以上になります。

委員 A) ありがとうございます。各部局、特に皆さん議論していただきたい項目を簡潔にお願いします。

職員 O) こども未来応援部の職員 O と申します。こども未来応援部につきましては、本年 4 月に新設をいたしまして、子ども政策を一元的に集約して、いわゆる妊娠前から出生、そして学童期など一

連の過程を、切れ目のない支援をするという目的で新たに新設をされました。その中におきまして誰もが、安心して持続的な社会実現のために、現在取り組むところというところで政策パッケージを2つ挙げさせていただいております。

まず、大元につきましては子育ての支援の充実というところの中で、1点目につきましては保育に関して、そして2点目につきましては保育からの学童保育に移行できるというところについて、挙げさせていただいております。その中の課題といたしましては、まず、保育における現場の人材確保、職員の確保が非常に厳しいというところがございます。

それと学童におきましても現在いろんな児童さんがおられます。そういったところの支援につきまして、様々付加をつけさせていただいているのですが、その支援について、今後、私どもの方で、新たな支援ができないかというところについて課題というところに思っております。

いずれにいたしましても先ほど地域創生推進課が言いました通り、社会の状態のいわゆる転出抑制、そういったところにおいて湖南の方に暮らしていただける、持続して暮らしていただける、そういった施策を今後も子ども政策としては展開していきたいというところですので、以上でございます。

職員 P) 都市建設部の職員 P と申します。どうぞよろしくお願いいたします。都市建設部といたしましては基本的にはインフラ整備を中心に事業をしております。特に公共交通について力を入れておりまして、コミュニティバス、またJRとの間で、湖南省にはJRの駅が三雲駅、甲西駅、石部駅と3つの駅ありますけれども、その駅舎整備、また周辺整備を実施しておるところで、現在石部駅の改修にあたるところでございます。そういったところでJRとの列車、そしてコミュニティバスとの連携を図り、地域の一円を公共交通で移動できるよう取組をさせていただいているところでございます。

また、インフラ整備ということで道路橋梁等の整備、または新設につきましても、古くなってきた道路の舗装の修繕であるとか、橋梁の修繕であるとかそういったことを、国の補助金を使いながら実施しているところでございます。

また空家につきましては、年々空き家の数が増えてきております。現在把握しているだけでも500から600軒ほどありまして、そちらの対応もしておるところでございますが、また空き家を利活用したいという方がおられますと、空き家バンク、そして登録していただきましてマッチングができた暁には空き家を利用して、次の方が利用される、いろいろと政策を実施しているところでございます。以上でございます。

職員 Q) 環境経済部の職員 Q と申します。よろしく願いいたします。私の方から、資料の26ページから掻い摘んでご説明させていただきますと、働く場の創出プランということで産業力の強化に取り組むということで、こちらの方につきましては基本施策のと見させていただきますと農林業の振興なり工業の振興、商業振興ということで、特に湖南省の場合は、工業会さん、また商工会さんと連携させていただきながら、やはりこれから人口が減っていく中で、減っていくということが懸念されますので、湖南省の魅力アップ、また湖南省の働く場を創出しまして、活気あるまちづくりを進めたいというふうに思っているところでございます。

続きまして 29 ページを見てください。このところでは、働く場の創出のところですけども多様な雇用働き方の実現ということで、特に湖南省の方でも、障がい者の方、そういった方も、やはり湖南省の場合は、SDGs未来都市計画の中で、誰も取り残さないで、活気あるまちづくりを進めていこうということもありますので、障がい者の方々が生き生きとこのまちで暮らせる、また社会に貢献できる場の創出ということで、そういう取組をさせていただいているところでございます。

続きまして、31 ページをご覧ください。このところは私の方も、実は私今年初めて環境経済部に來まして観光の方にも携わっています。そういった中で、観光入込客数といいますのが、大体千人以上観光客が訪れる場所の統計の数値を合算したもので、千人以上訪れられるところをピックアップしまして、年間の来場者数をトータル的に合計した数値が上がっているところでございます。ここ見ていただきますと基準値の令和元年の時に、63 万人ぐらいございましたが、それ以降は落ち込んできています。令和 7 年の計画では 83 万人ぐらいまで目標値を上げていますけれども、コロナ禍の中によりましてやはりちょっと落ちてきているというようなところでございます。ただ、観光の方ですけども、本市の場合は、観光協会さんとタイアップさせていただきましていろんな取組をさせていただいています。そういった中で、令和元年に 63 万人の方が来られていますけれども、実際その 10 年ぐらい前を見てみましたら、半分ぐらいの数字でした。といいますのも、湖南省の場合、先ほど皆さんの挨拶の中で出ていましたけれども、ポテンシャルがあるけど、何かもったいないとか、便利だけど光るものがないというようなところで、私自身もそういったところを今後どうすればいいかということで担当者と話し合いをしているんですけども、ちょっと皆さんのご意見をいただければ、それで観光の振興をつなげていきたいと思っています。湖南省の場合は湖南三山というのを表に出したところ、ここ 10 年ぐらい前ぐらい令和元年までに倍くらいまで伸びているというようなところでございます。

最後に 34 ページをご覧ください。持続可能なまちづくりということで、さっき事務局の方から説明ありましたようにSDGs未来都市ということで、SDGsに関する取組をいろいろしています。35 ページにありますシュタットベルケ構想やSDGsの地域資源等教育推進事業ということで、こちらの方につきましては、今日お越しいただいています委員 F 先生のおられる甲西高校さんと連携しまして、甲西高校の生徒さんにSDGsのことを学んでいただくというような場を設けさせていただきまして、また立命館大学や同志社大学の方が、アドバイザー的にご協力していただきまして、地域の中で湖南省について考えていこうという場を設けさせていただいているところでございます。

そういったことで、より湖南省の魅力なりを知っていただいて、まだ将来的にも持続可能なまちづくりを進めて参りたいということで取り組んでおります。

委員 A) ありがとうございます。観光振興の取組についてお話いただきましたが、各部局から評価を求め事業の 1 枚物の説明は今のお話に含まれていますか？

職員 Q) いえ、ではこの説明もあわせてさせていただいてよろしいでしょうか。

委員 A) はい、お願いします。

職員 Q) 今回の資料の最後にあります資料について、観光協会さんとタイアップしまして湖南省の観光を盛り上げていこうとしているという、観光協会さんの方も何とか湖南省の観光をより一層振興していきたいということも言っていた中で、湖南省の方につきましては、総合計画の中では、まちの将来像でずっとここに暮らしたい、みんなでつくろうきらめき湖南という目標を掲げています。そういった中で、観光振興の中でも、地域資源を活かした観光交流の創出や、観光情報の発信、観光ルートの整備、ここ見ていただきました観光ルートの整備のところで湖南三山の観光モデルコースの整備としまして、今は結構観光客の方も増えてきているっていうようなことです。もう一段、湖南省の方では何度も言いますが、いろんな資源があるんですけども、それが眠っているような状況でもございますし、皆様の方からご意見とかも頂戴いたしまして、それを光るものがせっかくそれを活かさなければもったいないということもありますので、そういったところの取組を今後考えていきたいということで、実はこれから3年間かけまして、観光協会さんが湖南省の観光プロジェクトっていうものを進めていただきまして、湖南省の魅力アップについて、3年間かけまして、いろんな方々と接点を持ちながら、湖南省の観光を将来どうしていこうかということを計画していただくというような形になっています。

これで、湖南省の魅力を高めて交流人口の拡大を図るためにはということで、少しでも皆様のご意見を頂戴できればなというふうに思いまして、今日説明をする時間をいただいたところでございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員 A) そしたらこの政策パッケージの用紙の方の最後、部局としては教育部、先ほど部長も次長も別の公務で出席できておりませんので、ご意見ありましたらまたご意見シートに書いていただければと思います。説明は割愛ということで、あともう1つのシティプロモーションの話について、担当の方から説明をお願いします。

職員 K) それにつきまして私の方から、総合政策部の職員 K でございます。湖南省は、面積も人口も決して大きな市ではありませんが、いくつもの魅力にあふれたまちであると自負しております。

まず1番ですが、湖南省は、読んで字のごとく琵琶湖の南にあり、古くから広域交流のまちとして重要な拠点となってきました。写真は、名神栗東湖南インターチェンジをおりてすぐの所にある18haの新産業団地と、湖南省の西の玄関口にあたる石部駅の近くで、最近竣工されたGLPさんのマルチテナント物流施設ですが、このように人・物・データの産業団地開発や企業誘致が現在も活発に行われています。

次に2番ですが、まず、市のど真ん中を県最大河川の野洲川がダイナミックに横断しています。その付近には、美しい田園風景が広がり、それに沿うように電車が走っています。写真は、近江牛で有名な千成亭にお肉を卸しているまるさん牧場さんです。野洲川の南北それぞれにはタキイさんなどの研究農場が立地しており、知る人ぞ知る農業の聖地になっています。観光地では、国宝湖南三山の美しい紅葉の写真を3点載せていますが、豊かな自然をそのままに生かした公園、温泉、オートキ

キャンプ場も人気スポットです。

今度は、一気に様相が変わりますが3番をご覧ください。湖南省には、主要な道路軸上に、なんと県下最大の湖南工業団地をはじめ、多くの工業団地があります。湖南省の産業を支える真の姿は、クボタさん、TOTOさん、三菱自動車さん、カルビーさん、大塚食品さんなど、そうそうたる製造企業群が立地する、県有数のものづくりのまちです。

4番目は近江下田焼や近江一閑張など古き良き伝統文化が残り続けるまちでもあり、5番目の「社会福祉の父」と言われる糸賀一雄先生が創立した近江学園をはじめ、湖南省独自の発達支援システムが全国的にも先駆的で福祉先端のまちとも言えます。また6番目は市民の外国人比率が県内1位で、仕事だけでなく教育や生活まで多文化共生が進んでいる珍しいまちでもあります。

最後に、最近湖南省が特に力を入れているのが、7番の「SDGs」で、内閣府のSDGs未来都市に、県内市町では初めて選出されました。この「湖南省SDGs未来都市計画」では、「若者」が重要なキーワードになっています。「若者が主体となった持続可能なまちの創造」、という壮大なテーマをかがけてまちづくりを進めています。

このように市の魅力をお伝えさせていただきましたが、まだまだシティープロモーションが成功しているとは言えない状況であり、ぜひご意見をいただけるとありがたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

委員 A) ありがとうございます。ひと通りの情報をインプットしていただいて、市の皆様のご意見、ご説明をいただいたところで、ちょうど残り1時間となりましたので、この1時間で委員の皆様からご意見をいただくということで、この意見いただいた内容はできるだけ施策に反映していただきたいというふうに思いますので、そういう思いを込めて言っていただくと通じるのではと思います。どうぞよろしくお願い致します。

さっき言ったように1人3分という気持ちで、5分以内でお願いします。

委員 B) 観光のことなのですが、湖南三山ですごく観光客の方が増えていると思うのですが、日々住んでいて思うことは、東海道を歩いておられる方が四季を通じてたくさんいらっしゃるんです。よく聞かれるのが、ここに飲食店はないですか？どこか喫茶店はないですか？離れたところじゃなくて、東海道筋にということでも聞かれます。

前に一度地域おこし協力隊さんの方が夏見の方でカフェをしたいとおっしゃったらしいのですが、商業ができない地域なのか却下されたらしいです。石部の方はそうやって、マメコーさんとか協力隊さんのドングリーさんとか、歩いていらっしゃる方が休憩するのに田楽茶屋さんとかあるので、すけど他のところにはないので、却下じゃなくて、施設を湖南省がどう使うか、地域おこし協力隊に来ていただいているのに却下されるだけじゃなくて、施設を提供するみたいな、空き家もたくさんあるのに、どうして空き家を利用したカフェができなかったのかなってというのが一つの質問です。

それと先ほどとは正反対の事ですが、栗東湖南インターの上がるころの広い土地に、工業地帯みたいに今はまだ山が削られた状態になっていると思うのですが、そこが開発されてから、近く

の神社の方にたぬきやきつねやすごくやせた野生動物が下りてきているのです。そういうのは環境問題を見てから開発を始められているのか、すごく山が削られていっているのか、もう動物の居場所がなくなってだんだん下りてきているのです。そうになるとやっぱり人間としたら動物は嫌だ、動物としたら人間は嫌だと思って下りてきていると思うのですが、環境問題を考えて開発は進められているのか、ちょっと疑問に思うので、その辺のお答えをお願いします。

委員 A) はい。どこがお答えになりますか？都市建設部ですか？用途地域の話か市街化調整区域内の話ですかね。

職員 P) 都市建設部の職員 P です。まず 1 点目の旧道沿いで飲食店ですけれども、おっしゃる通り、市街化調整区域になりまして、ものが提供できない、家が建てられないという基準っていうのがありまして、ただ、今は空き家に関しまして、最近若干法律が改正されまして、空き家の利用をやりしていいんじゃないかというのが国を挙げて出ているところでありまして、そういったところで市街化調整区域であっても、公共の施設というか、公共の皆がよく集えるようなまちや店をとすることは、基準が緩和されてできるようになってきたっていう部分です。法が変わって、緩和されたのは本当に最近です。空き家は当然旧道沿いも結構出ています。ですからその辺り、可能なというふうを考えておりますので、そういったお声をまた掛けていただければ、実施できるかなと思います。

委員 A) 不可能じゃないです、ただ手続きが結構大変です。地域おこし協力隊の人が我慢してくれるなら、手続きの期間があればできますが、おそらく 1 年はかかります。土地利用計画の変更っていうか、用途地域の申請はうちも今多賀町でやっているのですけれどももう 2 年くらいかかっています。簡単には下りないのですが、緩和の方向には向かっているのでできないことはない。それと環境アセスの話ですか。

職員 Q) 環境アセスメントっていう制度があるのですが、それに基づいて開発をしなきゃいけないので。やはり大規模な開発されるときには、土地計画法で開発許可の手続きがあるのですが、その前にそれをやる上で、いろいろと周りに問題ないかということで、いろんな所管課の方が管轄します法律関係とかで、環境の方で言いますと環境アセスとかもやりまして、問題がないというような位置付けの中で、一応事業が実施されます。ただ、大きなものができると、やはり動物が今までいたところが無くなってしまっているところがあるのですが、そういったことも一応配慮しながら、確認もしながら開発の方が許可されて、工業用地ができているというところがございます。

委員 A) 環境影響評価っていうことなんですけど、これは環境アセスメントっていうのですが、それで確認をして開発をしているんですけど、こういうトラブルがよくあります。よくありますから、やっぱり対策をきちんとしてもらう。動物との共生をどうするかっていうのを考えてもらうような方針を議論してもらったほうがいいと思います。では次進みます。

委員 C) 人口減少そして少子高齢化の対策は、国の方も言葉だけはいつも出るんですけども、実際はほとんどできていない。今回子育ての支援っていうのはあくまでも保育とかそういったところの援助というところなんですけれども、実際に少子化をとめるには、やはり大家族の中で育て、子ども、孫といったところが一緒に共生ができる、必要な環境や教育っていう部分が必要じゃないかなと考えています。どうしても核家族になってくるとその中で子どもを育てていくっていうのは非常に難しいので、この子育て支援の中に、そういった形での大家族型ですね、やはりこの湖南省市としたら、家も土地もかなり皆さんあるので、なので全国的には数字は上がっているんですけども、その辺の大事さっていうのを子どものうちから教えていく、何かそういうステップがあれば、核家族にならずに大家族で、子どもが増えるんじゃないかなと思います。

委員 A) 今のところの答えをお願いします。

職員 O) はい。ありがとうございます。まさしく今おっしゃっていただいた通りというように思っております。現在私どもが進めているところにつきましては、市内における小規模多機能自治について、今説明が行われていますが、そういった拠点に子育てコンシェルジュというものを配置しております。いわゆる家庭総合支援センターというところに正規職員を配置いたしまして、そういったような子どもさん、或いは家庭、そういったところの面談相談、そして今後どうしていったらいいのかという連携を主にさせていただいております。そうしたところから、教育部や必要に応じて家庭支援の必要なところをひもづけ、一体となって、支援をさせていただいて、その中で地域の高齢で少しお時間のある方には、ボランティアというようなことで、来ていただくという包括的な取組をさせていただいております。

今もう 1 点申し上げますと、先週から小学校の夏休みに入っております、約 1 週間がたちました。そういった中で、地域の先輩方と、子どもさんが交流する場を持たないかっていうところで、試験的に今年石部の交流センターを活用させていただいて、子どもの居場所づくりというのをさせていただいております。例えば学童保育に帰れない子、或いは核家族で両親が共働きの家、そういったところの子どもをしっかりと地域でみる。そしてそういう支援が行き届くというそういう取組もさせていただいておりますし、さらに来年以降については違う地域にも展開していきたいというところで現在計画しているところでございます。

委員 A) ありがとうございます、たぶん委員 C さんが言われたのは昔の大家族のような、家族で子育てをするようなシステムが大事なんじゃないですかという話だと思うのですが、今の社会だと、私もそうでしたけど、女性陣が家に入るのがいやだというのが結構多くて、やっぱり世帯が分かれているっていうのはやむを得ない状況です。それでも、分かれた世帯や核家族になったとしても、地域で支えようっていうのが国の施策に出てきていますので、それが今言われた地域包括でサポートしようという仕組みなんですけど、まだまだ不十分な状況なので、そこにもっと意見をいただいて充実させてもらったらいいかなと思います。

子育てに関しては、私は今一緒に多賀町と活動しているんですけど、多賀町と比べてもまだまだかと思えますし、他の地域はもっと弱くて、もっとやれることはいっぱいあるんじゃないかっていうふうに思うので、特に湖南省さんは企業がいっぱいいるんだからもっとやれることいっぱいあるなっていうふうに思っています。私の意見です。では次お願いします。

委員 D) はい。全体の説明を聞かしてもらって、大変失礼ですけども、面白くなかった。全体の感想として、はっきり言わせてもらおうと、湖南省の色がなかなか出てないなっていう。どこの市町の行政に行っても、国の施策なりの方針に則って、ここの市町に見合うようにこういう紙媒体を作っているのをよく見るんですけど、それに近いような感じで、大変失礼ですけども湖南省っていう色がもう一つ出ていないかなというところ辺を感じさせてもらったのが全体の意見です。

もう一つ言うと私は湖南省の人間じゃなくて隣の甲賀市民なんですけども、甲賀市もそんな大したことないんですけど、湖南省さんの隣の甲賀市、僕はもうちょっと田舎の土山の人間なんですけども、昔は湖南省さんっていうと、お金あるっていうイメージやったんです。湖南工業団地ができて、結構企業さんがこの地へ来て、今湖南省の方の企業の方で働かしてもらえるんですけど、ちょっと元気がないというのは感じています。今の施策等々も聞かしてもらったんですけども、湖南省全体でというのが見えないんです。

人口減ってきています、外人さん増えてきています、でもその外人さんのためにお金、税金使っている施策をしていますけど、外人さんとこの地元の住民とが一緒になってというところが湖南省を見ていても感じられない。外人さんは外人さんで行動されているし、地元の方は地元の方っていう一緒に何かやっているっていうのも見えないっていう。また観光にも力入れている湖南三山や東海道等々話に出ていますけど、年代が子どもから大人まで、お年寄りまで全体の年齢層で観光に来られているかっていうとクエスチョンマークがつくんです。

ただ人数は増えていますが、全体の年齢層として全体のバランス的に若い世代からお年寄りまでの方が全員そこに来られているかっていうとなかなか難しいかな。湖南省として全体でというところが難しいかなというところで、駅や道路等々の都市計画をされていますけれども、綺麗にはなるんですけど通過だけで終わってしまう。湖南省は立ち寄ってもらえないかな。

私は湖南甲賀の労福協の役員をやらしてもらっていると、湖南省さんで一番お世話になったのが滋賀ボウルなんです。そのボウリング場が今ないんですね。湖南省さんの市のものじゃないんですけど、間の施設等があるとコミュニティーの場っていうか、ちょっとしたレクリエーションの場に使用してもらえっていうところ、湖南省さんに来てもらえる企業さんも結構あるんで企業さんのそういったイベントにも使えるかなというところがある。あとは私結構スポーツやっぴまして、野球をやっているんですけど、昔は湖南工業団地に球場なり、陸上競技場なり立派な施設があったんですけども今は使えないですよ。隣の甲賀市を見ると甲賀スタジアムであったりスポーツの森周辺のところとか、市民体育館とかあって市民の使う場であるんですけど、市民以外の市外県外からその施設を利用しにくる方を結構見るんですけど、湖南省でそういった場所ってなかなかないですよ。計画の中に、将来何年後かのビジョンの中にそういう施設も入れてもらった方がありがたいかなと思います。

委員 A) すごく良いお話をいただいたんですけど、総合計画とか考えるうえで、やっぱりその地域の特徴は何ですかっていうのを、きちんと押さえた上で考えましょって話をしますけど、湖南省の特徴という、この工業団地がやっぱり大きいっていうのがすごい特徴だとは思ってます。今言われたようにレクリエーション施設っていうのは、そういう働く人たちが余暇を過ごすために整備されてきた。それが今景気も悪くなってできなくなったのかもしれないですけど、そういうのが使われなくなったり、閉鎖されたりしているんで、それを現代的にリノベーションするにはどうしたらいいかみたいなことを、発想が湖南省の特徴を高めるのにも相乗効果があるんじゃないかなっていうふうな今のお話聞いて思いました。湖南省に来ると、なんかレクリエーション施設がすごく充実しているところっていうのが、多分昔はそういう魅力だったんで、でもそれは全体的に難しいかもしれないので、リノベーションして、発想変えて、現代的にそのレクリエーションの拠点として、湖南省はどうなのかっていうのが考えられるといいかなと、すごくグッドなアイデアだと思いますっていうか、勝手に評価してごめんさい、では次お願いします。

委員 E) 2つ気になるところがあって、1つ目は就職活動に関してなんですけれど。私もちょうど二年前に就活をしていた身で、2022年の入行になるので2021年とかにちょうど就活をしていたんですけど、京都の大学に通っていたんですけど、京都の大学ってこともあるんですけど就職のタイミングで地元を出る人って肌感めっちゃ多かったイメージがあって、正直なところ同級生で大卒の子だとほとんど湖南省に残っている友達ってなくて、湖南省ってたくさん会社さんとか工業団地もあるってお話されていて、甲西駅に就活のフェアのポスターが貼ってあるのを私もよくお見掛けするんですけど、それって目に入らないと意味がないっていうか、そういう催し物があってもそれをやっているってことを学生が知らないとあんまり意味がないのかなと思っていて、個々の関西の大学にこういう催し物をやっていますってPRとかを、もっとしっかりされたらもっといいんじゃないかなっていうのと、マイナビとかの大きな就活の説明会とかに湖南省の会社さんももっと出ていって、湖南省の会社さんに限ったところとするんじゃなくて、もっと大きいところとかに会社さんが出ていかれて、就活生の目に触れたり話を聞かせていただける機会っていうところに参加されたら、もっと働くことをきっかけに湖南省に来て下さる方とかも逆にできたりするんじゃないかなって思ったのが1点目です。

2点目は観光業のところ、私も湖南三山にあるように自然とか紅葉を見に行ったりとかすごく好きで、いろんな関西の地域とかよく回ったりしているんですけど、先ほどおっしゃられたように観光地の近くに飲食店とかあったら人が来やすいんじゃないかなっていうのと、同じような感じになるんですけど泊まる場所、宿泊施設とかがあったらもっと人が来やすいんじゃないかなっていうのがあって、結構そういうのを調べるときにInstagramとかTikTokとかで情報が入ってくるんです。Instagramに例えば湖南三山の写真とか近くにこういう宿泊施設があるんですけど、インスタって結構PRになって、フォロワーがいる人が来て載せたら、割とその効果で予約が埋まったりとかする宿泊施設とかもあるみたいで、それこそ大津の方に、ふわっとした知識なんですけど、古民家を改装されたホテルか旅館かなんかをオープンされたところがあって、住宅街の中にそのホテルってあるんですけど、

結構見ていたら人気で割と先まで予約が埋まっていたりするのですが、それこそ空き家がたくさんあるっていう事やったら観光業とかホテルで下田焼の食器を使ってご飯を出したりとか PR にもなると思うので、宿泊施設とかはあったらもっといいんじゃないかなっていうのは思いました。以上です。

委員 A) はい、ありがとうございます。就活の話と、観光のお話になります。

職員 Q) 環境経済部の職員 Q です、まず就活の方の話なんですけども実は私も子どもがいて、子どもの方が就職をしたんですけども、やはり湖南省から出ていってしまう。湖南省で就職活動は確かしてなかったと思いますし、やはりそういった中で今おっしゃってくださったように、いろんな SNS とかを活用しましてやっているんですけどもなかなか目に留まってないところもあります。

湖南省の方では、甲賀市さんと合同のジョブフェアっていうのを、年に 1 回か 2 回とか実施しているんですけども、そこも以前は湖南省か甲賀市でやっていたんですけどもなかなか人が来てくたさらないので、草津市まで出てやらしていただいているというようなところで、一応工夫はさせていただいているんですけども、何分そういう PR の方を今後強化していきたいなということで、うちの方ではちょっと内部で相談してるところでありますし、貴重なご意見ありがとうございました。

それから観光の方なんですけど先ほど言っていたように、どうしても都市計画法上で、市街化区域と市街化調整区域っていうのがあります。例えば、西寺や東寺の方でもいいところなんです、ちょっと静かなところがちょっとそこら辺で空き家とか出てきましたら、宿泊施設にできたらよかったです、それが今まで都市計画法の中ではちょっと制限されたんですが、それが先ほど職員 P の方がいいましたけど、ちょっと規制緩和されましたし、それで今、観光協会の方がちょっと力入れてくださっていますのが、観光施設を点で抑えるんじゃなくて線でつないでいくために、1ヶ所だけ行って帰ってもらっていたら、せっかく湖南省他にもいろいろありますのでそれを線でつなげていこうと。それで滞在時間をいかに伸ばす、湖南省を見てくださる時間をいかに伸ばすか。そういった中で私も思っているのが、ちょっと飲食店がなかったりとか宿泊施設が今ちょっと不足しているっていうことがありますので、今それをどうしていこうかというのを、観光協会さんの観光プロジェクトがやってみて、そこに市も入らしていただいて、今後ちょっとどうしていくべきかというのを相談させていただいていますので、貴重な意見もいただきましたので、こういった意見も取り入れながら、私どもも力を入れていきたいというふうに思っています。

委員 A) はい。ありがとうございます。ちょっと順番変えて、観光の話が出ているので、委員 G さんから聞いたほうがいいですね。

委員 G) 私は湖南省観光協会に勤めているんですが、SNS で計画的に発信していくとか PR 不足っていうのはすごい胸が痛かったというか、できていなかったことだなと思っております。今年度から、北海道から地域プロデューサーさんをお迎えして、観光推進プロジェクトがスタートしまして、そこでお土産開発部会と観光プラン開発部会、二つチームに分かれまして、プランを作ることになっていま

す。今から進めるのでまだ何か方向性が決まっているというわけではないのですが、今まで市役所さんと一緒に進められることが、もしかしたら足りてなかったのかなと思うので、ぜひとも一緒に進めていきたいです。

委員 A) 他にご意見とかありませんか、今回の話で。

委員 G) ちょっと違う話になるんですが、若者のまちづくりへの参画に興味津々でして、湖南省観光協会、イベント事務局をたくさんしてまして、湖南省さくらまつり、夏祭り、石部宿祭りとか、十二坊トレイルランとかですが、若い人に楽しんでもらえるイベントなんですけども、スタッフは年配の方ばかりになっていて、もったいないなっていうのは感じているんです。なので、そこにボランティアスタッフとして参加したいっていう方がいるのであれば、湖南省観光協会とつないでいただけたら嬉しいなと思っております。

委員 A) はい、では委員 F 先生に聞きましょうか、流れとして。

委員 F) それに関しては、多分こういう仕事でこういうのだからという明確に道筋が立った状態で提示をされると、おもしろそうっていうふうに動く子は出ると思います。実際に今の高校生を相手にしていると、自分で見通しを立てて動くというのが下手な子が増えてきたなという印象があって、何かしたい、あれやりたい、これやりたいはいっぱい出てくるんですが、道筋がなくて実行できないで困っている、そこが見えたらボランティアが結構動くと思います。

実はそれに絡んで、違う分野になるんですが、市がお話したことを聞いていて、こういうことがうまく機能したら高校生のキャリア教育の面でもいいし、市の方は市の方でお仕事を作っていくっていう意味では、選べるって意味ではいいのかなと思ったのが、学童保育とか保育園の人手が足りないっていう話をしてはったと思うんですが、実は高校生、女子高生では、保育士になりたいっていうのがすごく多いです。今年私一年生を担当して 40 人いるんですが、うち 20 人女の子なんですけどそのうち 4 人か 5 人が保育士になろうかなと思ってますみたいなことを皆でしゃべります。別に看護師がいいですって言う子も多いので、看護師は看護協会が協力して 1 日看護体験みたいな案内をもらって、高校生が行っていたりして仕事を見てくれるんですが、保育士の方となると、やっている地域とやってない地域がすごくあって、保育士を目指す子は湖南省在住とか近隣の子なんですよね。

ということは、今の湖南省にある保育所とか学童保育の方でそういう体験をさせて上げるからどうって言って、学校側に来ると、学校側が生徒を送り出します。そして体験した子たちがすぐには無理なんですけど、2 年後や 4 年後に勉強して大学とか行って、湖南省に仕事があるって分かってきたら、実は生徒は今の時点では地元に戻りたいって言います。大学を選ばせるときに話をすると出たがりません。家から通えることを条件にまずあげます。

学力的に県大さんは厳しいのでいつも戦っているのですが。実は県大さんはそういう意味では意

識高い子は行きたがるんですよ。大学は京都に出ってしまったとしても、帰ってきてちゃんと自分がやりたい仕事ができるって分かっていたら帰ってくる。基本的には地元が好きな子たちなので。それはすごく思いました。その部分で上手に市と協力出来たら、いろいろ探求学習だったりとか、SDGsフォーラムだとか、一緒に市とやっていますけど、そういうのと繋がりや深みを出すものではないかなと思って聞いていました。

もう1点それに絡んでなんですが、SDGsカレッジについてです。立ち上がった頃から、高校生に声をかけて欲しいということで、学校側にチラシがやってきて、2年くらい前は職員Kが「ごめん、時間とってくれるかなー」っていう一言で無理矢理授業の中に押し込んでみたりとかしたんですが、今年も配布はしたが生徒たちは「何それ？」っていう風でした。私は元々の話を知っているので、「こういうことをして、ここに出ている子うちの卒業生だよ。こういう子だったよ。こういうので大学に繋がったよ」っていう話までしてやると「え？そうなの」みたいになるんですが、教員もそうですし生徒もわかっていない。「なんかきたぞ、配ってと言われたから配る」みたいなので、その部分を先ほどSNSの活用の話をしてはったと思うんですが、高校生はSNSが好きです、すぐ進みます。そうなので、TikTokとかInstagram、Twitterもまだまだ使っているみたいなんですが、そこらへんにそういう情報を載せていただけるとすごくいいのかなと思います。

実は似たような事業は甲賀市さんもやっていて、甲賀市さんの場合は、動画の撮影の仕方を教えるとかなんかでやりはったと思うんです。プロに動画の撮影の仕方教えてもらって編集の仕方までやって、なんか作品つくって甲賀市の役にたつてね、みないなのやっていて同時に資料がきたので配ったら、そっちの方が食いつきがよかったです。またSDGsカレッジの中身ももっと何をやっているのかははっきりわかるような形で発信していただけたらいいかなと思います。

委員 A) はい、その話はSDGsカレッジの委員 I さん、よろしくお願いします。

委員 I) 委員 F 先生、いろいろご意見ありがとうございます。運営の一人としてもこれは昨年度から問題としてあげているところで耳が痛い限りです。一応やっていることとしてはInstagramで発信はしているんですけども、やはり中高生世代のフォロワーというよりは地域で活動されている方々が応援してくださっているっていうのでフォロワーがあるのでInstagramでの効果を感じない、SNSでの集客っていうのはもしかしたらそんなに効果がないのかなっていう結論になっていたんで改めて検討させていただければと思っております。

委員 A) ご自身の意見をどうぞ。

委員 I) 私の意見としては、委員 E さんが先ほど宿泊地、古民家を改装したホテルという意見を話されていた時に、私もそれに関連して観光目的というよりは若者の活動拠点となる場所として活用ができるんじゃないかなと思いました。

今大学生メンバーで私は湖南省在住なので住む場所などは必要ないんですけども、外部から

関わってくれている学生も複数名おりました、そうなったときに宿泊地、活動拠点の確保に結構時間がかかっている、ほかにもキャンプを 8 月に開催するんですけども、そちらも湖南省内にはもともと自然道場、あれが三雲の近くにあったと思うんですけど、あれがなくなって、今年の開催地、宿泊地としては希望が丘にある青年の城を活用させてもらうことになりました。出来れば湖南省内でやりたかったという事だと思うんですけど、そういう資源が教育とかまちづくりの面でもないというのがあります。

古民家、大学生目線だと結構魅力的だなんて感じる事が多くて、やっぱりそれこそ食いつきがいいというか、他の事業にはなるんですけども、私も他の地域のまちづくり事業に今年は参加予定で、そこも古民家を活用したってなるとイメージがあるので、難しいとは思いますが、将来的に検討していただければなと思っております。

もう 1 点あるんですけども、以前観光に関して、どことは言わないんですけどじっくりお話を聞いたことがあって、全体として連携について懸念点を持たれているなという印象がありました。湖南省には、私自己紹介の時に「光ものが〜」というふうに言ってはいたんですけども、光るものっていうよりは、いろんなものがありすぎて、先ほど委員 D さんがおっしゃっていたと思うんですけど、湖南省の色が見えないっていうのは「ああ、確かに」って感じておりました。

そういった中で全体としてどういうふうに関係をとられているのか。具体的なコミュニケーションを実際に関わっている現場の方と、市役所でどうやって連携しているのかとか、観光協会とかもそうだと思うんですけどそういう民間の団体で、具体的に例えばこういう会を設けられているのかとか、定期的に訪問しているのか。そういうのが、気になりました。

もう 1 点、私が気になったのが、官民パッケージ評価シートの 22 ページの学童保育所の運営事業になるんですけど、これはセミナーを 8 回ほど開催されているという事ですか。これだけにとどまらないんですけども、市役所でかなりやってらっしゃる事業はセミナー形式のものが多いかなと思うんですけども、それをもう少し実際に現場と繋ぐとか、そちらの方がかなり効果が高いのかなと思ったので、セミナーはやはり形式的なものなのかなと感じます。

委員 A) はい。ありがとうございます。よろしいですか。

職員 Q) 環境経済部です、宿泊施設や空き家の件について、以前は空き家の担当もしていたんですけども、旧東海道沿いで空き家が結構増えています。そういった中で委員 E さんも言ってくださいますように、空き家を改装して、リノベーションして、そういった活用も規制の方の緩和ができてきましたので、今後はその辺も含めまして、観光協会さんや観光プロジェクトの中でも話し合っているところでもあります。

結局は来ていただいて、滞在時間を長く居ていただいて、そしたら泊まる場所休む場所となると、やっぱりそういったところにあるかなと思いますし、西寺や東寺など自然の豊かなところでもありますし、今後は検討できるかなと思っています。あとそういったところを活動拠点にもなるかなというふうに思っています。

それと、いろんなものがあり過ぎて湖南省の色が見えないとか、連携の部分ですけども、正直なところ、いろんなものがある中でどういうふうにピックアップしたり、繋いでいくかという作業、観光のルートの方なんですけど今まで湖南三山のルートとか旧東海道ルートとかあったんですけど、観光協会さんの方で、より長く滞在していただくために、どういったルートが考えられるか、各種団体の方とか観光ボランティアの方とかいろんな方が入ってくださって、この観光プロジェクトの中で、ここ何年かかけて考えていこうというような動きになっています。

実際に湖南三山だけじゃなくて、いろんな社寺仏閣もございますし、そういったものをどうやって繋いでいくか、そこのところでスタンプラリーとかも設けて、いろいろな人を呼び込む事を考えていったらいいじゃないかとかいう話とかもいろんな意見が出ています。そういったところを今、取りまとめているところでもありますし、またそういったところに、頂戴した意見を私らがしっかり伝えていきたいというふうに思っているところでございます。

職員 O) こども未来応援部です、初めに委員 F 先生の方からいただきました学生さんの就労、こういったような地元に着定するっていう視点は非常に大事なというふうに聞かさせていただきました。今私どもの方でこども未来応援会議っていうのを開催して、計画に取り組んでおるんですが、国の方から9月ごろに大綱が示されるんですが、子どもや若者、ちなみに若者の定義っていうのは39歳までになっておるんですが、そういったような視点をしっかり入れたまちづくり子ども計画に反映しなさいと言われており、その中においてあるべき町の方向性を示すっていうことで2年間は取り組む予定をしております。

その中で、就職っていうところがございましたが、現在就職っていうところは、よその町うちの町も取り合いをしているという状況です。その中で、よその町が魅力を出すために、例えば定住支援促進というので住宅費を出している。そうすると私どもも出すよ。そうすると隣の市はさらにもっと出すとといったような支援の拡大をしているだけっていう事が起こります。そうではない魅力を出さなきゃいけないというところに、お知恵を借りたいっていうのが1点です。

それと学童保育につきましては、しっかりその方が学童保育に支援員と来ていただいた時に、継続的に勤めをしていただけるよう、その方の定住をきちっと促進をしたいというところなんです。2点目は、その方の生活が維持できないと別のところに就労替えされてしまいますので、学童保育で定住して、そこで生活ができる体系をきちっととるというところが、私ども行政に課せられているというところなんです。そういったところについても力を入れていくというところなんです。現在私どもで民間入れて10施設があるんですが、そういったところもきちっとした生活ができるようにしていきたいというところを思っております。

委員 A) はい。では最後委員 H さんお願いします。

委員 H) 湖南省さんの取組の中でクラウドファンディングについて、取り組んでいることをほとんど知らなくて恥ずかしいなと思いましたが、面白い取組が行われているのだなと思いました。あと外国籍

の方への取組に関して、外国籍人口が増えているなかで、幼少期の教育が非常に大切だと思います。外国籍の方で日本語が分からないという家庭で、勉強がわからない、ついていけないとなりますが、さくら教室という取組を行われていますのですごく良いことだと思いますが、日本社会でやっていけるよう継続的に続けて行くことが大事だと思います。あと、障がい者支援について、一番助けが必要なのはいわゆる急性期でして、助けを求めたときに3週間後にと言われ、結局警察沙汰になってしまって、障がい者支援は地域の中でというのは大事なことでなくてはならないのは分かるんですが、支援は瞬間、瞬間に必要なのでお願いできればと思います。

それに関連して農福連携事業は、障がい者でも労働ができて、いい方向に行こうという、非常に素晴らしい取組だと思います。

観光に関してですが、ウツクシマツや湖南三山など湖南省さんは非常に素晴らしい観光素材がありますので、線というお話がありましたが、線にすると一か所でも悪いところがあると引っ張られますので、民間と協力してやっていただければと思います。県の観光振興事業で、女性の方に向けて一生懸命やっておられた事業があって、女性が動けば男性も動きますので、戦略的にやっていただければと思います。

職員 K) 総合政策部です、今いろいろとお褒めをいただいたかなというふうに思っています。湖南省のいいところを委員 H さんおっしゃっていただいて、そういったところが市の売りにしていけるかなというふうに思いましたし、またシティプロモーションを進めていく上で、私たちは生まれ育った場所であるため近すぎて、何か知っているようであまり知らない。外の方にいろいろとそういったところをご意見いただくと、意外にもそういったところがまた魅力なのかなというふうにも思いますので、シティプロモーションのPRに、そういったところを強みとして、進めていきたいなというふうに思いました、ありがとうございます。

委員 A) 一通り皆さんご意見いただいたんですけど、何か他に追加でお話ございますか。これだけは言っておきたいということございますか。

...

なければちょっと私の方からも少し言わせていただきたいんですけど、今の皆さんのお話を聞いて思ったことをよろしいですか。私は湖南省のことは最初に言ったようにあんまりよく知らないですけど、地域診断という手法を、私の方の学生がやってくれたのを見たりして、このちょうどシティプロモーションの紙に書いてあるようなことを学生たちも調べてくれて、湖南省ってこんなまちだねって、その時に出た学生たちの提案は、工場の労働の方々と、この一次産業の田園風景とをやっぱり融合するような取組が必要じゃないかということも学生たちは提案をしていました。やっぱり湖南省の特徴は、工場団地を作ったってことはありますけど、それと野洲川に生まれた田園風景と山に囲まれている自然環境と、この立地的にうまく工業団地で当てはまった環境等がうまく融合できてないんじや

ないかっていうようなことを学生なりに言ってくれたんで、その通りかもしれないねと、現地見てないんでわかんなかったんですけど、そういう話があるのかなというふうに思いました。

それと、僕から見るとやっぱり湖南省はコンパクトなんですよ、コンパクトシティというかコンパクトな形をしている。川があって田園風景があって山があってみんなそろっている。働く場所もあって非常にコンパクトにまとまっている地域なので、一つのモデル地域として発信をするのに適してるとこだと思いますので、湖南モデルみたいなものを作っていくにはいいんじゃないかなと。

それと、外国人の就業が非常に多いという話で、これから日本は、1割が海外から来られた方になるというような、もう先駆的に身をもって挺していただいているので、じゃあどうい社会を作っていくんですかということ、やっぱりモデル地域として全国的に見せていく必要があるっていうか、逆にとらえると湖南省をアピールしたり見せるチャンスだと思うんですよ。それを先駆的にいろいろ取り組んで発信していくことが大事じゃないかなというふうに思います。

やっぱりその先にSDGsの話もそうですけど、誰もが働きやすい、ここに来るとすごい働きやすい、なんかよくわかんないけど働きやすい。レクリエーション施設がいっぱいあってというような話も含めて、何か湖南省はすごく働きやすいところがあるよというようなことが、広まるように、それを戦略的に広めていくようなことをすると、湖南省の魅力も高まりますし、湖南省の活性化にも繋がるのかなと思いますので、今皆さん本当に言われたような話を活かしてやるということは大事です。

もう一つ言わせていただくと、やっぱり情報発信を徹底的にやらないといけないと思います。これだけ情報が溢れている中で、発信しないと勝てないですし、待っているだけでは絶対駄目なんで、もうよっぽど情報発信しないといけないのでインフルエンサーを養成するぐらいの勢いで情報発信して、みんなに知ってもらうようなこと、特に若い人たちはそういうのは得意ですから、そういう若い人たちに参加してもらって、もう情報発信を徹底してもらうということは、必要ではないかなというふうに思いました。

他のお話で就職の話でいうと、県立大学も県内の入学者が3割ぐらい、県内の就職者も3割ぐらいなんです。あとの6~7割は外から来て外に行っちゃうって話なんです。これをでも、高めようとするので僕もいろいろ取り組んでいるんですけど、今多賀町さんと一緒にやっているのは、地域おこし協力隊を新卒で採用するということ、今年やりました。県大の学生を地域おこし協力隊で採用するということやりました。制度を知っている方はアクロバットなやり方だと思われるかもしれないんですけど、それはやっぱり県立大学は地域に根差した大学ということで、地域学生と地域活動をたくさんやるんですけど、地域に就職するところがないんですよ。まちづくりをやりたいって話を言った時に、自分のやりたいことをやる場所がない。たまたまこの子は子どもの居場所づくりをやりたいという話で、私がやっているプロジェクトの中にそのプロジェクトがあったので、じゃああなたこれを地域おこし協力隊でしてきたらどうですかという話で、某有名な内定を蹴って来てくれて、そういうふうにやっぱり自分のやりたいことがもう世の中で見えちゃっているんで、それ以外のことで、何か働きたいっていうのは、選択肢としてはなくなりつつあると思うんですよ。

実は私事なんですけど私の娘も、上の子は2年で会社を辞めて、下の子は1年で会社辞めて、すぐ辞めました。自分のやりたいことをやると、でもやりたいことが世の中いっぱい溢れて情報が

っばい入ってきて、これをやりたいってことができるかと分かっているので、だったらそういうのをよく対話して、あなたは何がやりたいのっていう話とその人は得意なことができるような環境を作っていくって、それも働きやすい湖南ってようなキャッチフレーズをするんだったら働きやすい場というか、選択肢を提供してあげるような、そういうのを作っていくのがすごい大事なんじゃないかな。

それと事業者さんでいうと、利益は非常に世界経済に左右されるとこあるので難しいところがあるんですけど、中小の事業者さんとかは、もう自分たちの事業でこればかりやっても立ち行かないと気づいているところが結構あって、第 2 創業したりとか、新しいことをやりたいっていうふうに思っている方は結構いらっしゃるんですね。そういうようなところと組んで、地域だから中小企業同友会さんとかはキャッチフレーズで、その地域に貢献するビジネスをやろうみたいなことを、中小企業さんたちが言っているようなことをやっていますので、そういうような中小企業さんとかを、第 2 創業とかができるような環境を作ってそこに若い人にやりたい、地域貢献やりたい人を当てるとか、そういうようなマッチングをしていくとよろしいんじゃないかなというふうに思います。

全体の話としては、僕は湖南省で働く事がすごい魅力的だっていうような場をつくる、コンテンツとかネタはそろっていると思いますので、それをいかに作っていくかということ、全体像として描いていく必要があるんじゃないかなというふうに感じました。

取り留めないお話ですが、以上です。そしたら一通り皆さんの意見を伺ったということで、事務局の方にお返ししたいと思います。どうもありがとうございました。

職員 J) 皆様、長時間にわたりまして、ありがとうございました。本日いただいた皆さんからいただきました貴重なご意見につきましては、事務局の方でしっかりと整理をさせていただきたいと思っております。そして、今後の市の事業の展開の参考にさせていただきたいと思っております。また本日ご意見記入シートを配布させていただいておりますので、すべてを伝えきれなかった意見等にございましたら、8月 10 日頃までに記入いただきまして、地域創生推進課にメール等でも結構ですので、提出いただければ幸いです。また本日の議事の内容につきましては、どの委員さんの発言かというのを伏せた上で、市のホームページの方に掲載をさせていただきますので併せてお願いいたします。それではこれで令和5年度湖南省まち・ひと・しごと戦略茶話会を閉会いたします。本日はお忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございました。

終了